

板一中 小中一貫学びのエリアで目指す子ども像 「自律」と「自立」 ・自ら考え、挑戦し続ける子 ・自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子 ・心と体を大切に、困難にも立ち向かえる子

教 育目標・指導の重点

明るくじょうぶな子ども	進んでやりぬく子ども	なかよく助け合う子ども	正しく判断できる子ども
・心身共に健康な子どもの育成	・めあてをもち、問題解決、課題解決に向かって主体的に取り組む子どもの育成	・自分と異なる人のよさや可能性を受け入れ、自分のもっている力を人のために発揮する子どもの育成	・基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力、判断力、表現力を身に付け、自分のできることを精一杯取り組む子どもの育成

i CSと共に

板橋第七小学校は、子どものためにある学校である。歴史と伝統を継承し、創造性と可能性を高める学校経営に取り組んでいく。「自律」し「自立」する児童の育成をめざし、課題解決のためにチャレンジ精神をもって「つなぐ・つなげる・つながる…その先へ」の連続性を意識した質の高い教育活動を展開していく。

- iCS(板橋区コミュニティ・スクール委員会)**
- ・学校課題の共有
 - ・育てたい子ども像の共有
 - ・課題解決のための熟議の推進
 - ・学校支援地域本部と協働
 - ・教職員と共に課題解決

目指す学校像

「知っている子より
やっている子」
やる気、本気、根気、勇気、
元気にあふれた学校

- 児童にとって安全・安心な学校
- 楽しく学べ、成長が実感できる学校
- 保護者・地域から信頼される学校

学び支援プラン2025と学校の課題と使命

- 学校の課題
- ①学力向上
 - ②学習規律の確立
 - ③基本的な生活習慣の定着
 - ④差別や偏見のない豊かな心の育

- 学校の使命
- ①ユネスコスクール
 - ②板橋区子ども環境大使校
 - ③青少年赤十字校

- 板橋区教育委員会～学び支援プラン2025
- ①保幼小接続、小中一貫教育の推進
・板橋のi(あい)カリキュラム 読み解く力の育成を基盤とした「自己調整学習」の推進
 - ②板橋区コミュニティ・スクールの推進
 - ③教員の働き方改革
 - ④だれ一人取り残さない居場所づくり

小 中一貫教育の推進 (保幼小接続)

自己選択・自己決定・自己責任

- ①「読み解く力」育成のための共通実践
- ②読みの習慣化による教科書理解
- ③「読み解く力」を土台とした自己調整学習の推進
- ④いたばし授業スタンダードの徹底
- ⑤総合的な学習の時間を中心とした探究型学習の実践
- ⑥SDGsを意識した地域・街との関わりのある学習の推進(郷土愛の育成)
- ⑦児童・生徒の交流計画の充実
- ⑧エリア中学校によるによる小学生のための授業体験と交流
- ⑨特別の教科「道徳」の共通重点指導「善悪の判断、自律、自由と責任」の実施
- ⑩9年間を見通した年間指導計画の作成(単元配列表)
- ⑪教科担任制(交換授業)の推進
- ⑫よりよい学校生活に向けた学級活動による話し合い活動の充実

確かな学力・学習規律

- ◇校内研究(読み解く力を土台とした自己調整学習の導入)
- ◇学びのエリア授業スタンダードの徹底
- ◇基礎的読解力を意識した授業の習慣化
- ◇一人一台タブレット端末の活用
- ◇探究型学習の推進
- ◇ブロック担任、副担任、教科担任制の取組
- ◇補習教室へっちーでの基礎・基本の定着
- ◇MIM、RSTの調査の活用
- ◇学力向上週間の活用
- ◇iCS委員会と連携した体験学習の充実
- ◇算数少人数習熟度授業の推進
- ◇学力向上専門員の活用
- ◇読書積み立てカードの活用
- ◇外国語学習の充実
- ◇スタートカリキュラムの充実
- ◇体験を重視した活動の推進

豊かな心

- ◇チャレンジできる環境づくり
- ◇差別や偏見のない人間関係の育成
- ◇互いの人権を尊重した規範意識の育成
- ◇校内、教室等の環境整備
- ◇特別支援コーディネーターとの連携
- ◇障害者差別解消法の理解と合理的配慮の充実
- ◇特別支援学級の理解と交流
- ◇特別支援教室「なのはな」の活用
- ◇関係専門教員・学校職員との連携
- ◇ユニバーサルデザイン教育の推進
- ◇道徳教育の充実、hyperQUの活用
- ◇「ふりかえり7」によるいじめ早期発見
- ◇たてわり班活動(異学年との交流)
- ◇読み聞かせ、読書タイムの充実
- ◇誰一人取り残さない居場所(ふれあいルーム)

基本的な生活習慣(安全・健康・体力)

- ◇決まりを守って落ち着いた学校生活
- ◇命の学習の充実(道徳、避難訓練、交通安全、薬物乱用防止教育、セーフティ教室、地域防災訓練、登校班指導)
- ◇教育相談活動の充実(SC、SSW、アドバイザー)
- ◇体力づくり、健康教育、食育を通じた基本的な生活習慣の確立
- ◇板七小SNSの活用
- ◇体力向上週間の活用
- ◇PTA、iCS委員会との連携
- ◇スクールガード・見守り隊、関係諸機関との連携
- ◇緊急配信メールの活用
- ◇HPの充実による情報発信
- ◇交通事故0
- ◇アレルギーの理解と確実な対応
- ◇板七小生活のあたりまえの活用

研 究の日常化

板一中 小中一貫教育学びのエリア共同研究 令和7・8年度 板橋区教育委員会教育研究奨励校

自己で選択・決定・調整できる授業等による学力の定着・向上
～読み解く力の基礎的読解力を基盤にして～

- ・視写
- ・MIM
- ・朝学習

特 色ある教育活動 誰一人取り残さない場所づくり

板七小ブランド

つなぐ・つなげる・つながる…その先へ

- ◆ブランド1 みどりと環境の板七小
- ◆ブランド2 みんななかよし板七小
- ◆ブランド3 地域と共に板七小

板七小の強み

- ・みどりのカーテン・ユネスコスクール
- ・あいさつ・学年と5組の交流ができる
- ・学年を超えて仲よく遊べる・栽培活動
- ・iCS・学校支援地域本部・読み聞かせ

学びとふれあいスペースの活用

- ◆多様な学びの場
- ◆ふれあいの居場所づくり
- ◆情報発信の場

特別活動・キャリア教育

- ◇学級活動の充実
- ◇児童会による年間スローガンの決定
- ◇特色ある行事(運動会、展覧会)
- ◇たてわり班、登校班活動
- ◇委員会、クラブ活動の充実
- ◇1年生と9年生交流
- ◇児童会・生徒会との交流
- ◇キャリアパスポートの取組

働 き方改革

学校経営
支援部

働き方改革project

- ・月の残業時間45時間以内
- ・ICカードによる在校時間管理
- ・完全休校日実施による休暇取得促進
- ・男子職員の育児休暇取得推進
- ・メッセージ応答電話の導入
- ・事務整理週間の導入
- ・余剰時数、学校行事等の見直し
- ・ペーパーレス化の推進・SSSの活用